

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学 校 名 大 牟 田 市 立 大 正 小 学 校  
(※正式名称を記載)

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☒ 小学校 ☐ 小中一貫<sup>※注 1</sup>  
☐ 中学校 ☐ 中高一貫<sup>※注 2</sup> ☐ 高等学校  
☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校  
☐ 特別支援学校  
☐ その他（例：小中高一貫）

※注 1 義務教育学校を含む ※注 2 中等教育学校を含む

所在地 〒836-0047

大牟田市大正町 5 丁目 5 番地 9

E-mail taisyou-es@st.city.omuta.fukuoka.jp

Website

幼児児童生徒数 男子 177 名 女子 177 名 合計 354 名

幼児・児童・生徒の年齢 7 歳～12 歳

## 2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800 字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

本校は「自ら学ぶ力と豊かな心を持ち、たくましく生きる子どもの育成」を学校教育目標に掲げ、ESD の実践を通して、「持続可能な社会を構築するための人づくり」を目的とし、学校・地域・保護者が世界遺産の美しいまちづくりを目指し、協働的な活動を通して、地域を愛する児童の育成を目標とした。また、活動の目指す成果として、次のように設定した。

- ① 郷土(地域)を愛する心の育成
- ② 地域の環境や郷土に関心を持てる子どもの育成
- ③ 持続発展教育に求められる価値観、人間性を育む
- ④ ESD の活動を国内や国外の学校に紹介する。
- ⑤ ひまわりプロジェクトの体験を通して、地域とのつながりを深め、美しいまちづくりの意識を高める。

具体的には、1 年生「地域の人とふれあおう」、2 年生「地域のよさを見つけよう」、3 年生「わたしたちのまちの宝を紹介しよう」、4 年生「わたしたちのまちのバリアフリーの社会を考えよう」、5 年生「美しいまちづくりを広げよう」6 年生「大牟田の歴史遺産を未来に伝えよう」の活動に取り組んできた。そして、全校児童で「ひまわりプロジェクト」に取り組んだ。

① 低学年の活動

- 1年：生活科「昔遊びをしよう」
- 2年：生活科「レッツゴーまちたんけん」

② 中学年の活動

- 3年：総合的な学習の時間「私たちのまちじまん」
- 4年：総合的な学習の時間「バリアフリーの社会を考えよう」

③ 高学年の活動

- 5年：総合的な学習の時間「美しいまちづくりを考えよう」
- 6年：総合的な学習の時間「大牟田の歴史遺産を未来に伝えよう」



① の写真

- 【1年】地域の方に剣玉、竹とんぼ、お手玉などの昔の遊びを教えていただく
- 【2年】校区にあるお店屋さんを訪ね、工夫や努力、まちへの思いなどを聞く



② の写真

- 【3年】校区にある神社を訪ね、「大蛇山」の由来、作製の工夫、大牟田への願いなどを聞く
- 【4年】障がい者施設を訪ね、施設をはじめ、食事、お風呂などの工夫や生活の様子を学ぶ



③ の写真

- 【5年】ロータリーに自分たちで考えた花壇のデザインをもとに煉瓦敷きを行う（上左）  
行き交う人々が少しでも癒やされるよう駅前に「ひまわりの花」を飾る（上中）
- 【6年】「世界遺産登録2周年」記念の新聞をつくって、市長さんと一緒に配布する（上右）  
長崎市大浦小学校と「世界遺産の交流会」を行う（下左）  
全国ユネスコスクール大会で「大牟田弁もおもしろか」を披露（下中）
- 【全校】全校児童でひまわりの苗を花壇に植える（下右）

## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

#### ア. 活動分野（複数選択可）

■ 1. 環境	□ 2. エネルギー	□ 3. 防災	□ 4. 生物多様性
□ 5. 気候変動	■ 6. 国際理解、文化多様性	■ 7. 地域の伝統文化、文化遺産	■ 8. 人権・平和
■ 9. 健康・福祉	□ 10. 食育	□ 11. 持続可能な生産と消費	□ 12. 貧困
□ 13. エコパーク	□ 14. ジオパーク	□ 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
□ 16. ジェンダー平等	□ 17. その他( )		

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

#### ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(学校・地域・市の行事 )	

#### エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

○市教育委員会からのユネスコスクール、ESDに関するリーフレット  
○年表と写真で見る大牟田市の100年  
○大牟田ESDコンソーシアム活動報告書  
○DVD三池炭坑関連近代化遺産紹介

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

本校におけるESDの実践を通して、「持続可能な社会を構築するための人づくり」を目的とし、学校・地域・保護者が世界遺産の美しいまちづくりを目指し、協働的な活動を通して、地域を愛する児童の育成を目標とした。そのために、全学年が年間の見通しをもって取り組んでいけるよう「ESDカレンダー」を作成し、他教科領域との関連を図りながら、授業実践を行い、随時、付加・修正し、見直しの改善に努めている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

各学年とも「ESDカレンダー学習計画を立てている。特に、体験活動を重視した活動ができるように、地域のGTを招いて活用させていただいている。そのためにも、各学年の学習内容に応じた地域の人材を確保に努め、人材マップを作成することで、地域のひと・もの・ことを生かした学習を進めている。また、長崎市大浦小学校との交流コーナーを設置して、児童の興味・関心を高めている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

大牟田市教育委員会へのESDの取組実践を報告したり、学習発表会等の場で学習内容を伝えたり、学校便り等で発信したりする場を設定している。報告書については、全職員で成果や課題、工夫改善等を共通理解し、次年度の具体的方策を検討し合い、共有化に努めている。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（200字程度）

※チェック事項 2-2 に対応

ユネスコスクール記念集会、学習発表会（いずれも2月）等で各学年のESDの取組の展示や発表等で、保護者、地域の方へ発信していることで、保護者や地域の方へのESDの取組の理解が図られている。

＜その他の発信実践例＞

- ・市長とともに大牟田駅で「世界遺産2周年」「市制101周年」記念の新聞を配布。（7月・3月）
- ・全国ユネスコスクール大会で「本校のESDの取組実践」を模造紙で展示

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）

（200字程度）

※チェック事項 2-3 に対応

毎月1回、地域の読み聞かせボランティアの方による読み聞かせ。

3年生の菊づくりでは、5名の地域の方に5月から11月までGTとして、また、5年生の美しいまちづくりでは、保護者の方や帝京大学の学生の方にGTとして協力いただいている。1年生の昔遊びでは、大正校区まちづくり協議会の皆様に協力いただいた。クラブ活動では、市の生涯学習ボランティアからの派遣で、茶道体験を通して、日本の伝統文化、歴史を教えていただいている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）

長崎市大浦小学校との「世界遺産交流」を3年間行っている。6年生の修学旅行で大浦小学校を訪問し、大牟田の世界遺産についての紹介やESDの取組を伝えている。そのあと、グラバー園に赴き、大浦小学校の6年生から長崎の世界遺産について教えてもらい、お互いの世界遺産のすばらしさを共有し合っている。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

ESDの取組の中で、地域の方との交流、協働的体験活動等を通して、地域にある宝やそれらを守り続ける人々の姿や、大牟田や地域を思う心にふれあうことで、地域のよさの再発見、郷土愛を育むことができた。

また、職員も市内外のESDに関する研修や発表会に参加していったことで、ESDの重要性、地域を生かした学習の工夫改善など、意欲的に取り組もうとする姿がみられるようになった。さらに、保護者や地域の方に協力していただく中で、ESDの取組の理解が深まり、より積極的な協力もいただけるようになった。

- （3）平成30年度の活動計画（200～400字程度）

- 【1年】 地域の高齢者との交流活動  
幼稚園・保育園児との交流活動
- 【2年】 手作りおもちゃで1年生と交流活動  
まちたんけんで地域の方と交流活動
- 【3年】 菊作りで地域の方と交流活動  
まちの宝（大蛇山）じまん活動
- 【4年】 バリアフリー社会づくりで障がい者と交流活動  
未来に向かって保護者との交流活動
- 【5年】 美しいまちづくりで地域の方との交流活動
- 【6年】 大牟田の世界遺産を未来へ伝える交流活動（大浦小との交流）  
わたしの未来の夢を伝える交流活動
- 【全学年】 ひまわりプロジェクト